神奈川県ライトセンターの事業

資　料　２

１　視覚障がい者への情報提供（点字図書館等）

視覚障がい者に必要な情報を届ける

○　点字や録音図書（デイジー（CD））等の製作、閲覧、貸出等

　○　インターネットを通じて、視覚障がい者に様々な情報を点字や音声で提供する「サピエ」（※）を活用

　〇　個人的な資料などを希望により製作や対面で音読するプライベートサービスの実施

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　等

※　全国視覚障害者情報提供施設協会が運営するインターネットによる視覚障害者情報総合ネットワーク。全国約220の加盟施設・団体が登録した50万件に及ぶ点字・録音図書目録の検索をはじめ、点字データ、デイジーデータなどのダウンロードもできる他、さまざまな情報が得られる。

２　相談及び訓練

　(1) 相談及び訓練

　　　視覚障がい者及びその家族、関係者から日常生活全般、白杖・歩行、点字、心のケアや、パソコン、スマートフォン、タブレット等のIT機器の使用方法等の相談を電話・来所・訪問により対応

(2) 視覚障がい児指導及び保護者支援

　　　特別支援学校の教員や視覚障害児の保護者等と連携しながら、地域を超えて交流と情報交換の場を提供

　(3) コミュニケーション指導

　　　点字の個別指導や利用者のニーズに合わせたパソコン操作のマンツーマンサポートを実施

　(4) 在宅援助活動

視覚障害者の自宅等に出向き、代読や代筆、衣類や書類の整理等、視覚障害者御本人が必要とするさまざまな支援を実施

　(5) デジタル機器個別相談会

ＩＴ機器の基本操作練習、興味のある機器の操作体験および相談会を実施。

(6) かなエール「視覚障害者向け相談＆機器体験会」

　　視覚障害者の「願いを叶える」という意味を込めて、関係機関や企業に呼びかけ、ワンストップサービスを目的に地域に出向いて実施しました。

(7) 利用者交流広場の開催

利用者同士が気軽に情報交換できる場としてサロンを設け、フリートークの他、スマホ・タブレットや点字、外出等をテーマとした懇談形式でも実施

コロナ禍においては、オンラインでも実施

(8) 専門研修の受入や他団体への事業協力

　　国の実施する研修や視察、他団体が実施する視覚障がい児・者を対象とした行事への協力

３　スポーツ振興

(1) スポーツ活動の場の提供

　 視覚障がい者用の体育館、プール、トレーニングルームの提供

(2) スポーツ教室等

視覚障害者の健康増進を図るため、水泳や肩こり腰痛ケアなど、各種スポーツや健康体操教室などを実施

　(3) スポーツ大会への協力等

フロアバレーボールや卓球等を他団体と共催

　(4) 地域スポーツ振興

地域に出向いて、各地で活動するボランティア等に視覚障がい者向けスポーツを紹介するなど県民や視覚障害者にスポーツを楽しんでいただく機会を創出

４　ボランティアの育成

　(1) ボランティア養成講座

点訳・録音・誘導・拡大写本・スポーツ＆レクリエーションボランティア講座等の各種養成講座を実施

(2) ボランティア研修

視覚障がい者へ支援技術の向上を図るための研修を実施

　(3) ボランティア団体等の指導育成

県内の視覚障がい者支援に関わるボランティア団体の活動を支援

５　普及啓発

　(1) 広報

　　○　機関紙「ライトセンターだより」の発行

　 　点字版・録音版・拡大文字版は利用登録者に、墨字版は県内ボランティア団体および関係機関に配布

○　ホームページによる情報提供

ボランティア養成講座、視覚障害者への各種教室のお知らせ、ライトセンターだより墨字版・点字版の掲載等、ホームページに情報を掲載

また、講座の受付もホームページから簡易に行えるよう利便性の向上にも努めた。

○　メルマガの配信

各種教室の参加募集や、タイムリーな情報提供の手段として、メール配信（メルマガ）の発行を定期的に行う。

　(2) 啓発活動

○　施設公開

視覚障害について理解を促進することを目的として、視覚障害者・晴眼者を対象に施設公開を開催。見えにくさの体験（ロービジョン体験）、誘導体験、点字や録音の体験等も行い、ライトセンター事業についても紹介

○　移動ライトセンター

県内各地のイベント等に出向いて、視覚障害者の日常生活用具や各種機器の展示、点字体験、並びにボランティア相談等のライトセンター事業を紹介するなど、視覚障害について理解を深めるための活動を実施

　(3) 交歓活動

○　クラブ活動

　　　　英会話、オカリナ、カラオケ、コーラス、サウンドテーブルテニス、サウンドテニス、社交ダンス等、全36クラブが活動する他、クラブ活動の行事への協力

　　○　理解促進活動

小学校、中学校、高等学校、各種専門学校等を対象に視覚障害について理解促進を図ることを目的に「視覚障害理解のための福祉教室」を開催

また、小中学校教職員、小中学生および保護者、ホテル従業員等のサービス事業所の社員を対象とした教室も開催

　　○　施設見学

　　　　各種団体や個人の見学希望者に対し、施設をより理解してもらうための「施設見学会」を実施

　　○　日常生活用具の普及

　　展示コーナーを設けて、日常生活用具を展示

６　関係機関・団体との連携および職員研修

県内外の視覚障害者情報提供施設、視覚障がい者関係団体、医療機関、教育機関、図書館等との連携